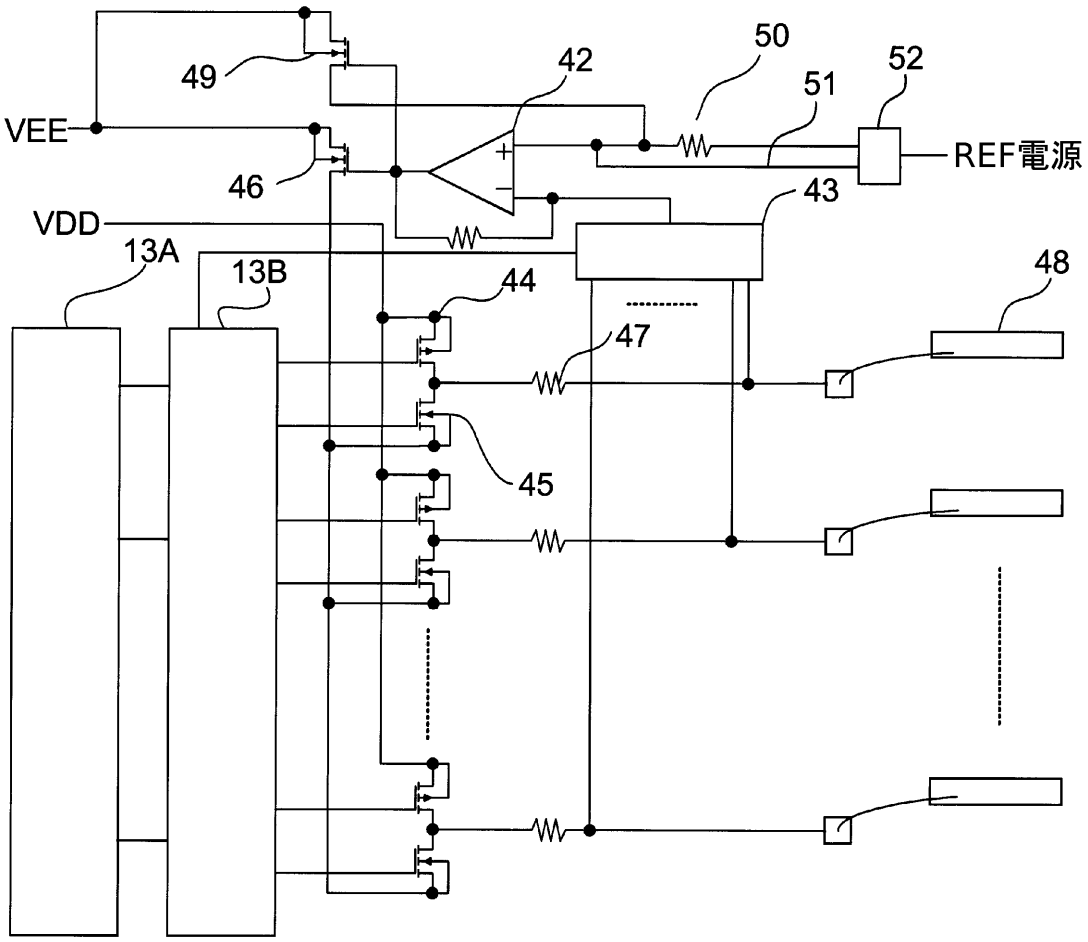
【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成22年5月13日(2010.5.13)

【公開番号】特開2008-256915(P2008-256915A)
【公開日】平成20年10月23日(2008.10.23)
【年通号数】公開・登録公報2008-042
【出願番号】特願2007-98443(P2007-98443)
【国際特許分類】
Ｇ０９Ｇ　3/22　(2006.01)
Ｇ０９Ｇ　3/20　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０９Ｇ　3/22　Ｈ
Ｇ０９Ｇ　3/20　６１２Ｅ
Ｇ０９Ｇ　3/20　６２２Ｑ
Ｇ０９Ｇ　3/20　６４２Ｐ
Ｇ０９Ｇ　3/20　６２１Ｋ
Ｇ０９Ｇ　3/20　６２２Ｍ

【手続補正書】
【提出日】平成22年3月25日(2010.3.25)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
複数の走査配線を有する表示パネルを駆動するための駆動回路であって、
前記走査配線のそれぞれに電気的に接続される複数の出力端子と、
前記複数の出力端子の中から、前記走査配線に対して駆動信号を出力する出力端子を複数選択可能な走査制御部と、
選択された出力端子の電位と基準電位との差電圧に基づいて、前記駆動信号の電位を制御する電位補正部と、
出力端子と走査配線とを接続する接続部材に起因する電圧降下を補正するために、前記選択された出力端子に流れる電流に応じて前記基準電位を調整する基準電位調整部と、を備え、
前記基準電位調整部は、前記選択された出力端子の数に応じて調整後の基準電位を変更可能とする
ことを特徴とする表示パネルの駆動回路。
【請求項２】
前記基準電位調整部は、前記選択された出力端子の数が複数の場合に、前記基準電位の調整をオフにする
ことを特徴とする請求項１に記載の表示パネルの駆動回路。
【請求項３】
前記基準電位調整部は、前記基準電位の供給源と前記電位補正部との間に調整用抵抗を有しており、
前記選択された出力端子に流れる電流に対応した電流を前記調整用抵抗に流すことによって、前記電位補正部に供給される前記基準電位を調整するものである
ことを特徴とする請求項１に記載の表示パネルの駆動回路。

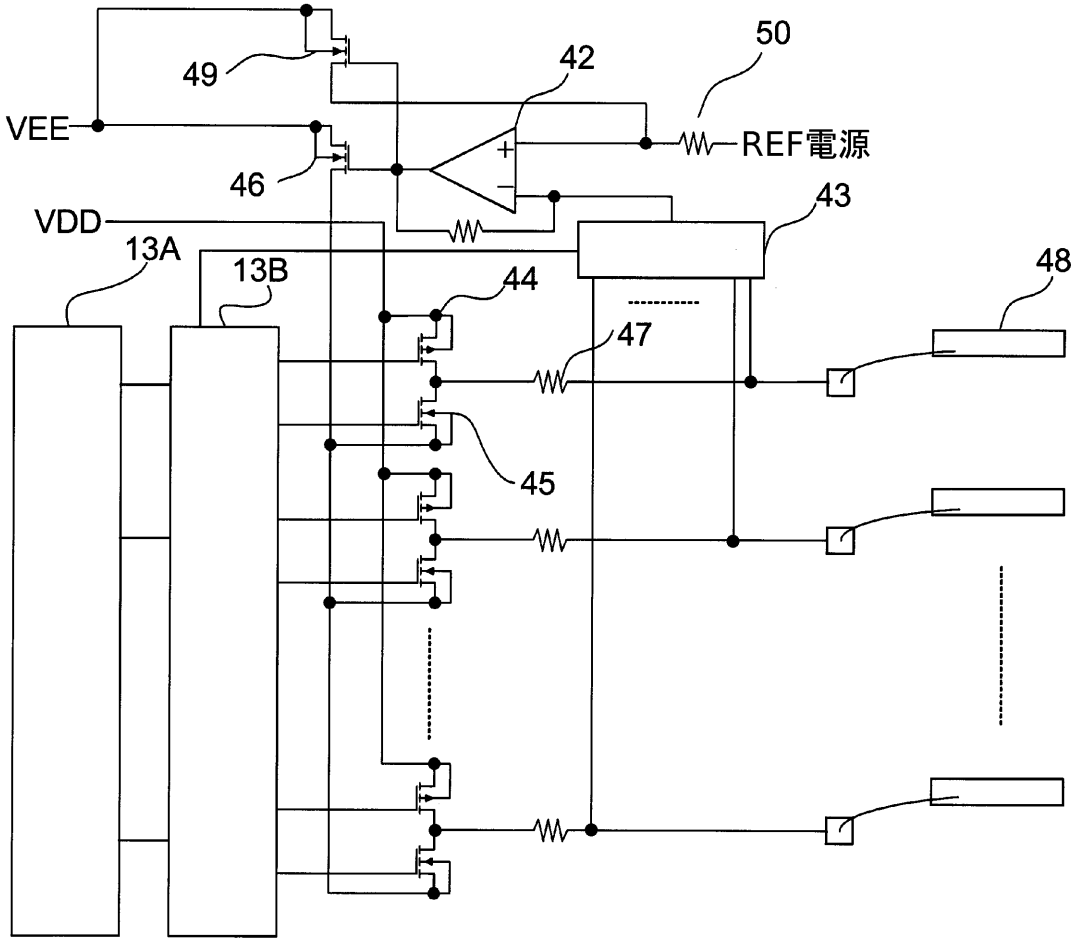
【請求項４】
前記基準電位調整部は、前記選択された出力端子の数が複数の場合に、前記調整用抵抗をバイパスして前記基準電位を前記電位補正部に供給する
ことを特徴とする請求項３に記載の表示パネルの駆動回路。
【請求項５】
前記基準電位調整部は、前記選択された出力端子の数に応じて前記調整用抵抗の抵抗値を変更する
ことを特徴とする請求項３に記載の表示パネルの駆動回路。
【請求項６】
前記調整用抵抗は、抵抗値の異なる複数の抵抗を有しており、
前記基準電位調整部は、前記選択された出力端子の数に応じて調整に用いる抵抗を切り替える
ことを特徴とする請求項５に記載の表示パネルの駆動回路。
【請求項７】
複数の走査配線を有する表示パネルと、
前記表示パネルを駆動するための請求項１～６のいずれかに記載の駆動回路と、
を備えることを特徴とする画像表示装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
本発明の第１態様は、
複数の走査配線を有する表示パネルを駆動するための駆動回路であって、
前記走査配線のそれぞれに電気的に接続される複数の出力端子と、
前記複数の出力端子の中から、前記走査配線に対して駆動信号を出力する出力端子を複数選択可能な走査制御部と、
選択された出力端子の電位と基準電位との差電圧に基づいて、前記駆動信号の電位を制御する電位補正部と、
出力端子と走査配線とを接続する接続部材に起因する電圧降下を補正するために、前記選択された出力端子に流れる電流に応じて前記基準電位を調整する基準電位調整部と、を備え、
前記基準電位調整部は、前記選択された出力端子の数に応じて調整後の基準電位を変更可能とする
ことを特徴とする表示パネルの駆動回路である。
【手続補正３】
【補正対象書類名】図面
【補正対象項目名】図１
【補正方法】変更
【補正の内容】

【図１】



【手続補正４】
【補正対象書類名】図面
【補正対象項目名】図８
【補正方法】変更
【補正の内容】

【図８】



【手続補正５】
【補正対象書類名】図面
【補正対象項目名】図１０
【補正方法】変更
【補正の内容】

【図１０】

